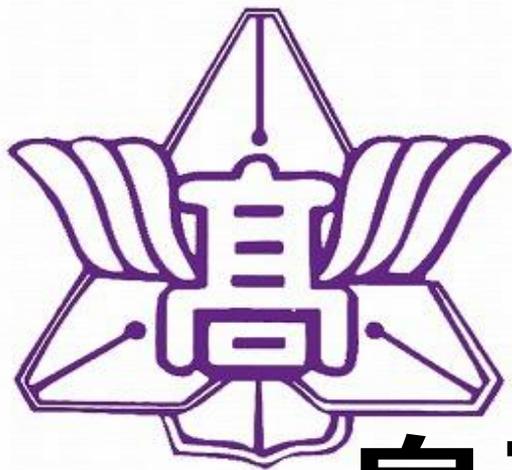


探究する力をつける 鳥東高の図書館活用

2021年8月3日（火） Zoomで配信 鳥取県立図書館

鳥取県立鳥取東高等学校
司書教諭 三好明美



鳥取県立鳥取東高校 創立99周年

令和3年度

在籍生徒数 844名

毎年100名以上が国公立大学に合格

教職員数 82名

鳥取東高校図書館

分掌 総務部図書係

常駐者 司書教諭（国語科）と学校司書（司書主任・正規職員）

場所 図書館棟2階（1階は自習室）

図書館閲覧室 213.8㎡

蔵書数 約3万7千5百冊

データベース 新聞記事検索データベース
全国紙2紙・地方紙1紙
ジャパンナレッジ

備品 生徒用ノートパソコン2・検索用パソコン1
iPad2 プロジェクター付き電子黒板1
プリンター1台 等

2017(平成29)年度から 取り組んでできたこと

環境整備の充実

- ・来館者増の工夫
- ・授業活用のしやすい図書館へ

教職員の意識改革

- ・更なる授業利用の提案
- ・生徒の心の居場所としての認識

生徒の積極的利用

- ・生徒主体の行事・図書委員会のあり方を検討

2017（平成29）年度の取組み より安心・安全に 開かれた図書館づくり

環境整備

- ・入口正面の高書架を移動・地震対策あれこれ

次年度に向けた取組み

- ・新しい学びを支える図書館魅力化事業の予算要求

公開授業の実施

- ・学校司書と司書教諭の図書館を活用した共同授業
「新書を読もう！ライブラリナビの作成」

生徒主体のイベント

- ・ビブリオバトルの実施・読書ボードの製作

2018（平成30）年度の取組み

生徒・教職員主体の 図書館づくり

生徒主体の行事

- ・図書委員による店頭選書

教職員によるおすすめ本

- ・しののめ選書(教員から生徒へのおすすめ本)の復活

職員研修会の実施

- ・「探究的な学習を促す授業デザインとカリキュラム・マネジメント」
稲井 達也 氏(現 大正大学教授 附属図書館長)

新聞記事データベースの活用

- ・全国紙1紙…教職員・生徒に発信

2019（平成31・令和1）年度 取組み

実践的な授業に対応できる 図書館づくり

生徒主体の行事

- ・生徒ボランティアによる蔵書点検
- ・鳥取県民の日クイズ学校オリジナル版作成

職員研修会の実施

- ・「探究を支える情報リテラシーの育成をめぐって
～情報カードの活用から～」 鎌田 和弘 氏(帝京大学教授)

新聞記事データベースの活用

- ・全国紙1紙・地方紙1紙…教職員・生徒の活用

2020（令和2）年度の取組み 総合的な探究学習への参画

授業支援のための環境整備

- ・プロジェクタ付きホワイトボードの設置
- ・カラープリンターの設置

職員研修会の実施

- ・探究を支える技能をどう育てるか 情報の探し方・活かし方を教える(オリジナルDVD) 庭井 史絵 氏(青山学院大学准教授)

授業支援の体系化

- ・総合的な探究の時間:理数探究部との連携

総合的な探究の時間をサポート

令和2年度からカリキュラム化

新聞記事・ワークシート等の提供

図書館ガイダンス各クラス1時間+調べる時間

1年生：「鳥取学」（地域課題解決）

企業・大学・研究機関などとタイアップ

2年生：前半「SDGs」（鳥取から世界へ）

手書きポスターに動画を加えた発表

後半「志望理由書」（自己と社会のつながりを考える）

社会で自分が学びたいこと

・出来ることを考える

3年生：「小論文」（探究活動を通じた自分探し・自己の役割とは）

現代の社会問題を掘り下げ・時事問題研究

・プレゼン演習・ディスカッション演習も実施

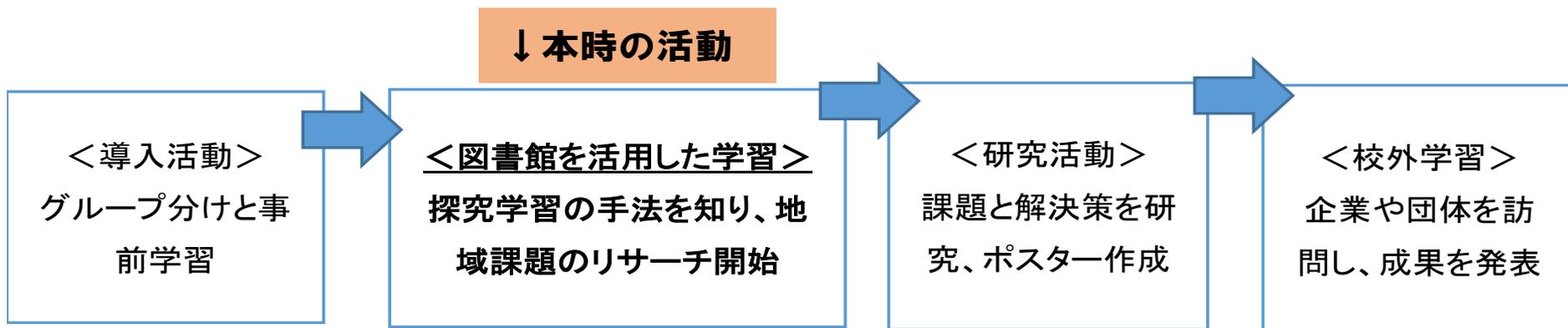
報道資料提供へ（鳥取県HPに掲載：一部抜粋）

1年総合的な探究の時間「鳥取学」～学校図書館を活用した探究学習～

鳥取県立鳥取東高等学校「総合的な探究の時間」の授業では、1年生全員が地域社会の課題解決に向けて探究する学習「鳥取学」に取り組んでいる。

本授業では、学校図書館を活用しながら、探究活動に必要な情報活用スキル、特に本・新聞記事・インターネットなど複数のメディアの特性を知り、情報を比較・分析しながら収集するスキルの育成を行う。

生徒が多様なメディアを活用しながら、地域や社会の課題に気づき、解決策を創造的に考える体験によって、主体的に学ぶ力が身に付くことを期待する。



図書館と探究活動の連携の内容等 詳しくはこちらを 国立国会図書館 カレントアウェアネス－E

No.407 2021.01.28

E2350 - 「探究的な学び」を支える鳥取東高等学校の図書館活動

[国立国会図書館カレントアウェアネス](https://current.ndl.go.jp/e2350)

<https://current.ndl.go.jp/e2350>

2021（令和3）年度の取組み

組織的に！体系的に！

総合的な探究学習へ参画

探究型学習の広がり

- ・学校司書と授業者の更なる連携・共同授業

進路対策

- ・小論文のための図書館活用講座

生徒会執行部と図書委員会の連携

- ・学校全体に関わる機動力へ

職員研修会の実施（予定）

- ・「生徒が変わる探究型学習～水戸第二高校

STARTプログラム～」

勝山万里子氏 茨城県立水戸第二高等学校 副主査 学校司書

総合的な探究の時間「SDGs 図書館を活用した 課題解決授業」のための指導案

学校司書と教員の役割分担を明確にした**授業の流れ(一部抜粋)**

本時の目標 2年 令和3年(2021年)6月

- ①課題解決のための図書館の使い方を学ぶ
- ②「SDGs」に関する資料の探し方・情報の集め方・記録法を学ぶ

本時の流れ

時間	学習活動	指導上の留意点 (詳細はPPTスライドのノート参照)	使用物等
5分	①各グループの目標番号にあたる「SDGs」の確認 ②グループごとに机上の本を読む	①教員の説明 ②学校司書の説明 *司書の説明スライドにはトリピーがついています。	スライド No1 ~3
3分	図書館を活用して調べる流れを確認する	教員：図書館で必要な作業を確認	スライドNo4
	本時の目標を理解する	教員：目標1~4を読みあげる	スライドNo5
5分	目標1 情報の信頼性 インターネットと紙資料のメリット・デメリットについて理解	教員：目標1を詳しく説明 調べる時、最低2種類は紙資料を探すように指示してください。	スライドNo6 ~9

今後の課題

- 探究型学習の基盤となる組織作り
- 学校司書任せにならない
教員との授業連携バランス
- 司書教諭のかかわり
- 生徒図書委員会の活性化

東高は発展途上の図書館

目指すのは！

みんなが主役の図書館づくり

社会にはばたく

生徒のために

探究的な力をつける図書館

ご清聴ありがとうございました。



鳥取東高図書館

ぜひ来てください
お待ちしております！！

